



スポーツ山形



(公財) 山形県体育協会

バスケットボール
成年女子

優勝

山形銀行



(写真提供：山形新聞社)

2015 紀の国 わがやま 国体



カヌースプリント200m・少年男子カヤックフォア
谷地高校（井上翔太・白田隆之・木村大翔・縄空）



カヌースプリント500m・少年男子カヤックフォア
谷地高校（井上翔太・白田隆之・木村大翔・縄空）

第70回国民体育大会を終了して



山形県選手団総監督
(公財)山形県体育協会 小川 潔

第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」は10月6日の総合閉会式をもって終了しました。昨年の長崎国体では天皇杯30位という残念な結果となり、今大会は総合得点900点、20位台確保をめざして2015年当初から強化に取り組みました。

スケート競技の活躍やスキー競技の粘り強い戦いもあり、冬季国体を終えたところで総合得点第10位というまずまずの成績で、岩手県で開催された国体出場の予選を兼ねる東北総合体育大会に挑みました。しかしながら、次年度国体開催が決定している岩手県の躍進もあり、もう一步のところで出場権を逃した競技が多く、昨年度より約100人少ない選手団の構成となりました。参加人数は少数となりましたが、昨年度に得点を獲得したほとんどの競技が引き続き本年も出場権を獲得したことから、日ごろの実力を発揮すれば、昨年以上の成績の可能という分析のもと、「わかやま国体」を迎えることになりました。9月中旬に開催された本大会前の競技では、勝利へのプレッシャーのある中で、水泳（水球）競技の4位、バスケットボール成年女子が優勝し、弾みをつけての本大会を迎えることになりました。

前期の開催競技では、ソフトテニス少年男子の強豪県を次々と破り3位となる活躍やフェンシング少年女子の5位という好結果もありましたが、高得点獲得となる団体競技のベスト8直前の試合に敗れるという競技がありました。また、後半日程の競技では、得点の獲得が期待された競技種別において、上位進出する実力はありながら、接戦はしたもの100%の力を発揮できずに敗退した競技も予想以上にありました。

苦戦する中ではありましたが、レスリング成年男子グレコローマンスタイルで優勝した鶴巻幸選手（自衛隊体育学校）、現在本県のお家芸といわれているカヌースプリント競技の男子500mカヤックフォアの縄空選手、木村大翔選手、白田隆之選手、井上翔太選手（谷地高）の息の合ったパドルさばきは観客をうならせる見事な優勝でした。また、地道な強化計画のもと目標得点を獲得した陸上競技やライフル射撃競技の今後の飛躍につながる競技もありました。

実力があるものの優勝・準優勝した都道府県との対戦で、入賞まであと一步のベスト16で敗退した競技を含め、県予選会、東北総体予選会、予選会を経ないで直接出場する競技、そして本番まで合宿・遠征等強化調整して本番で実力を発揮できる選手・チームにどう育成するか、競技の特性に応じた強化計画が見えてきているような気がします。

特に、昨年は80%の得点を獲得した少年男女ですが、今後も高校、中学校に期待する競技が多くあると思います。平成29年の全国高校総体の本県開催を控えているこの時期に、この「わかやま国体」を、競技団体、関係者で総括し、競技力の向上に努め、次年度の完全国体として開催する「2016希望郷いわて国体」に生かすことが重要と考えています。

第70回国民体育大会 (本大会) 2015 紀の国 わ

1 位

◇バスケットボール

成年女子 山形選抜（山形銀行）

◇レスリング

成年男子グレコローマン 85kg級 鶴巻 幸（自衛隊体育学校）

◇カヌー

少年男子JK-4（500m） 縄、白田、木村、井上（谷地高校）

少年男子JK-4（200m） 縄、白田、木村、井上（谷地高校）

2 位

◇陸上競技

少年男子B100m 齋藤 諒平（九里学園高校）

◇カヌー

少年男子JK-2（500m） 菊池憲斗、白田和豊（谷地高校）

少年男子JK-2（200m） 菊池憲斗、白田和豊（谷地高校）

3 位

◇陸上競技

少年女子A走幅跳 高橋かおり（九里学園高校）

少年女子B100mH 佐藤 和（米沢興譲館高校）

◇ソフトテニス

少年男子 山形選抜（羽黒高校）

◇馬術

成年男子六段障害飛越競技 秋葉 友勝（湯の町乗馬クラブ）

◇ライフル射撃

成年男子CP30M 大平 正義（県警察）

4 位

◇水泳（競泳）

成年男子100m平泳ぎ 小関也朱篤（ミキハウス）

◇水泳（水球）

少年男子 山形選抜（山形工業高校）

◇ライフル射撃

少年女子10mS40JW 高橋 佳伶（南陽高校）

◇カヌー

少年男子JC-1（500m） 志田駿太郎（寒河江高校）



陸上・少年男子B100m
齋藤諒平（九里学園高）



陸上・少年女子A走り幅跳び
高橋かおり（九里学園高）



カヌースプリント500m・少年男子カヤックペア
谷地高校（菊池憲斗・白田和豊）

がやま国体

5 位

◇陸上競技

少年男子共通円盤投 松田 知利 (庄内総合高校)

◇レスリング

少年男子フリースタイル96 kg 級 齋藤 一磨 (山形商業高校)

◇馬術

少年女子標準障害飛越競技 丹野 愛依 (山形第六中学校)

◇フェンシング

少年女子団体・フルーレ 山形選抜

◇カヌー

少年男子JC-1 (200m) 志田駿太郎 (寒河江高校)

◇空手道

少年女子個人・形 齋藤 沙希 (天童高校)

6 位

◇陸上競技

成年女子400m 佐藤日奈子 (大東文化大学)

◇馬術

成年男子標準障害飛越競技 二位関 亮 (湯の町乗馬クラブ)

7 位

◇陸上競技

少年男子共通三段跳 柏倉 康平 (楯岡高校)

少年女子A100m 村山 詩織 (九里学園高校)

少年女子共通砲丸投 安齋れんか (山形商業高校)

◇水泳(競泳)

成年女子200mフリーリレー 山形選抜

8 位

◇水泳(競泳)

成年女子400m自由形 長谷川 鼓 (日本体育大学)

少年女子A200m背泳ぎ 古林 穂菜 (日大山形高校)

◇弓道

成年男子団体・近的 山形選抜

◇ライフル射撃

成年男子CP60M・速射 大平 正義 (県警察)

少年女子BRS20JW 井上 瞳 (南陽高校)

◇カヌー

少年女子JWK-1 (500m) 吉見 優華 (谷地高校)



レスリング・成年男子
グレコローマスタイル85 kg 級
鶴巻 幸 (自衛隊体育学校・米沢工高出)



ソフトテニス・少年男子
羽黒高校のメンバー



カヌースプリント500m・少年男子
カヤックフォア 谷地高校のメンバー



水球
山形工業高校(市村朋也)
鈴木 健



バスケットボール成年女子
山形銀行メンバー

天皇杯・皇后杯総合得点一覧表

■入賞者 団体9 個人25 合計34

順位	都道府県名	男女総合 (天皇杯)	順位	都道府県名	女子総合 (皇后杯)
1	和歌山	2257	1	東京都	1121
2	東京都	2052.5	2	和歌山	999.5
3	愛知県	1977.5	3	大阪府	963.5
4	埼玉県	1904.5	4	愛知県	942.5
5	大阪府	1806.5	5	埼玉県	803
6	神奈川県	1626	6	千葉県	749.5
7	千葉県	1528.5	7	神奈川県	729.5
8	福岡県	1519.5	8	兵庫県	694.5
9	北海道	1393	9	北海道	670.5
10	京都府	1293.5	10	愛媛県	665
11	岡山県	1222.5	11	岐阜県	658
12	兵庫県	1215.5	12	福岡県	625
13	愛媛県	1203.5	13	広島県	624.5
14	長野県	1150.5	14	静岡県	610.5
15	岐阜県	1130.5	15	岡山県	608.5
16	岩手県	1099	16	岩手県	598
17	長崎県	1070.5	17	長野県	598
18	熊本県	1038.5	18	東京都	597
19	栃木県	1029	19	群馬県	569
20	静岡県	1015.5	20	長崎県	547.5
21	広島県	1000.5	21	熊本県	542
22	群馬県	997.5	22	宮城県	537
23	宮城県	956.5	23	三重県	502
24	滋賀県	940	24	福岡県	500.5
25	大分県	930.5	25	茨城県	488.5
26	福岡県	920.5	26	滋賀県	486
27	三重県	918	27	山口県	470.5
28	山口県	904.5	27	大分県	468.5
28	石川県	887	29	山梨県	459.5
30	香川県	879	30	鳥取県	459
31	福島県	866	31	栃木県	454.5
32	茨城県	839	32	佐賀県	440
33	奈良県	834.5	33	鹿児島県	437
34	山梨県	818.5	34	香川県	433.5
35	富山県	807	35	福島県	430.5
36	山形県	801.5	36	石川県	430
37	鹿児島県	799.5	37	富山県	425
38	秋田県	774.5	38	秋田県	414
39	新潟県	767	39	山形県	410.5
40	青森県	722.5	40	新潟県	405.5
41	鳥取県	722.5	41	徳島県	367.5
42	宮崎県	707.5	42	沖縄県	356
43	佐賀県	687.5	43	青森県	354.5
44	島根県	648.5	44	島根県	347
45	沖縄県	633	45	高知県	340
45	徳島県	605.5	46	奈良県	337
47	高知県	576.5	47	宮崎県	334.5
合 計		50478.5	合 計		26005.0



総合開会式で入場行進する本県選手団

平成26年度 山形県体育協会表彰

表彰式は、山形県スポーツ賞と併せて県庁講堂で執り行われました。

殊 勲 賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
ス キ ー	深瀬 悟志	日本大学山形高校 3 年	平成26年度全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校スキー大会 アルペン 男子回転	優 勝
ス キ ー	田村 希	県立北村山高校 2 年	平成26年度全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校スキー大会 クロスカンントリー 女子 5 km クラシカル	優 勝
水 球	山形水球クラブ		第37回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会 水球競技 B 区分 (中学生の部)	優 勝
フェンシング	梅津 春香	JOCエリートアカデミー 帝京高校 2 年	2015アジアジュニア・カデフェンシング選手権大会 女子フルーレ カデ 個人・団体 (日本代表)	優 勝
フェンシング	高田 真帆	県立米沢興譲館高校 1 年	2015アジアジュニア・カデフェンシング選手権大会 女子フルーレ カデ 団体 (日本代表)	優 勝
トランポリン	鈴木 楓	県立上山明新館高校 2 年	第12回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会 ダブルミニトランポリン競技 オープン女子の部・17歳以上女子の部	優 勝
トランポリン	舟越 晴香	上山市立北中学校 1 年	第12回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会 ダブルミニトランポリン競技 13～14歳女子の部 優勝 オープン女子の部 第3位	優 勝

奨 励 賞

種 目	氏 名	所 属	主 な 成 績	
ス キ ー	北川 征紀	酒田スキークラブ	第39回全日本マスターズスキー選手権妙高大会 男子大回転 80～84歳 第1戦・第2戦	優 勝
ス キ ー	森 保二	村山スキークラブ	第39回全日本マスターズスキー選手権妙高大会 男子大回転 75～79歳 第1戦	優 勝
競 泳	山形ドルフィンクラブ		第37回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会 競泳競技 11～12歳男子 200mフリーリレー・200mメドレーリレー	優 勝

平成27年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

◆旭日双光章

長沢 一好 前県体育協会副会長
(前県ソフトテニス連盟会長)

◆文部科学大臣表彰

(生涯スポーツ功労者)
 山川 清 県卓球協会顧問
 後藤 正博 県アーチェリー協会副会長
 秋葉 和美 県なぎなた連盟副会長
 佐藤 真隆 県レクリエーション協会理事長
 (生涯スポーツ優良団体)
 ほなみふれあいスポーツクラブ (長岡義隆代表)
 鮭川Jrバレースポーツ少年団 (矢口学代表)

◆日本体育協会表彰

(公認スポーツ指導者)
 齋藤 秀樹 水泳上級コーチ
 山本絵里子 水泳上級教師
 泉 博文 自転車競技コーチ
 鈴木 正廣 ソフトボール上級指導員
 小笠原 博 空手道上級コーチ

◆東北総合体育大会功労者表彰

矢口 禮安 県ボクシング連盟副会長

◆山形県教育功労者表彰

大神 訓章 山形大学名誉教授
 菅原 和敏 県バレーボール協会会長

◆県体育協会功労賞 (平成26年度)

大場 正仁 (理事) 齋藤 武司 (理事)
 鈴木喜代壽 (前理事) 高橋 政美 (理事)
 沼澤 宏 (理事)

◆県体育協会感謝状 (平成26年度)

長沢 一好 (前副会長) 佐藤 和彦 (前常務理事)
 塩野 孝男 (前理事) 吉田 芳弘 (前理事)
 山口 正己 (前監事) 渡辺 均 (前監事)

◆日本スポーツ少年団顕彰

(市町村スポーツ少年団表彰)

舟形町スポーツ少年団

(指導者表彰)

早川 勤也 石塚 悦雄
 安部 行雄 土門 満

(感謝状)

本間 清治



山形の新たな企業スポーツ



プレステージ・インターナショナル アランマーレ

地方に事業を支える重要拠点を設ける株式会社プレステージ・インターナショナルにおいて、「地域をもっと元気にする方法はないか、地域がひとつになれることはないか」という想いからスタートさせたのが実業団スポーツです。2015年4月に山形BPOガーデンにおいて女子バレーボール部を創設しました。2015年7月にVリーグ機構準加盟チームとして正式加入し、同月V・サマーリーグが初めての公式戦となりました。アランマーレはバレーボールの「強さ」だけではなく、「人間力」も兼ね備えた『善くて強いチーム』を目指します。スポーツ教室の開催など地域に根差した活動を行い、地域のみなさまに愛され、共に成長できるチームとなるべく活動してまいります。

11月より2015/16V・チャレンジリーグⅡに参戦し、最後まで諦めない熱いプレーで優勝を目指します。11月と2月に酒田市でホームゲームも行いますので、応援の程よろしくお願いいたします。



NDソフトアスリートクラブ

企業スポーツを通じた社会貢献

NDソフトアスリートクラブ監督 高嶋 哲

NDソフトアスリートクラブは、平成27年4月に、「スポーツを通じた社会貢献」を目指して創部いたしました。

チームの目標は、毎年1月1日に群馬県で開催される「全日本実業団駅伝(以下ニューイヤー駅伝)」の出場としています。また、地域貢献の1つとして県内の小中学校などで開かれる「陸上競技教室」に参加するなど、将来的には普及活動事業やリカレント教育の一環として、社会人などを対象としたランニング事業や、地域の皆様が楽しんで参加していただけるような大会やイベントなどを企画していきたいと考えております。

現在、専任スタッフ2名・選手11名の計13名で活動しております。私たちはアスリートであると同時に企業人でもあり、チャンピオンスポーツとして競技に取り組むだけでなく、普段は通常勤務をしております。働くということを通じて様々なことを学び、それを自分達の競技に活かし、また、その逆に競技から学んだことを業務に活かすことで自分の人生をより豊かなものにできると考えております。

山形県の陸上競技の競技力向上のお役に立てるよう邁進していきたいと思っておりますのでご声援よろしくお願いいたします。



パスラボ山形ワイヴァンズ

パスラボ山形ワイヴァンズは、昨年誕生した山形県初の男子プロバスケットボールチームです。

「パスラボ」とは、パスの研究所という意味があり、人から人へのパスを「繋げる」「繋がる」ことで、チームの勝利だけではなく、チームと地域の連携・交流を作り出し、地域の人と見えない力で繋がっていくという精神のもと、自主的に発展できる郷土・山形県への寄与と青少年への夢の提供を理念として、更なる地域活性を目指し、日々活動しております。

昨年から国内トップリーグ「NBL」の下部育成リーグである「NBDL」に参入しており、2016年秋には、新リーグ「B.LEAGUE」が開幕し、2部リーグ「B2」からのスタートが決定し、今シーズンはNBDL最後のシーズンとなります。

チームの目標としては、プレーオフに進出し、NBDLファイナルチャンピオンの座を勝ち取ることです。

そして何より県民の皆様にバスケットボールを通して元気と希望を与え、人生を楽しむことができるような環境を提供しながら山形県全体を盛り上げて参ります。

今後ともパスラボ山形ワイヴァンズへのご支援、ご声援を何卒宜しくお願い申し上げます。



第19回日韓青少年



日韓青少年夏季スポーツ交流事業は、2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓両国の共同の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツの振興を図ることを目的に開催され、この事業は、サッカー・バレーボール・バスケットボール・卓球・バドミントンの5競技において、おいて受入を行いました。韓国より217名の選手・指導者等が来県し、本県より選出された日本また、派遣については、受入年度とその前年の2ヶ年に亘って派遣することとされており、今て大韓民国全羅南道麗水市へ派遣され、韓国代表選手団と交流を深めました。一週間親元を離れて参加し、たくましく成長した参加団員からの感想を紹介します。

日韓青少年夏季スポーツ交流事業に参加して

バスケットボール小学生男子選手（受入） 上田 侑聖

ぼくは、第19回日韓青少年夏季スポーツ交流事業に山形県選抜の一員として参加させていただきました。正直、まさか自分が山形県選抜に選ばれるとは思ってなかったので選ばれた時は、おどろきました。選ばれたからには、バスケットで精一杯自分の力を試してみようと思いました。今回選ばれた山形県選抜のチームメイトとも仲よく話をしたり、遊んだりして楽しかったです。韓国の選手とは、5日間一緒にすごことができ、言葉も通じませんでしたが身ぶり手ぶりで交流することができました。試合結果は、練習試合を含めて勝つことができました。韓国の選手は身長も高く、スピードもあって上手だと思いましたが、負けないうみんなで力を合わせて、勝つことができました。このチームでバスケットをできたことがとてもうれしく思い、みんなと顔を合わせるたびにわくわくしました。

日韓交流事業1日目は、開会セレモニーと日韓合同練習がありました。開会セレモニーでは、各チーム紹介があり、みんなきっちりあいさつができたと思います。2日目は、日韓練習試合と午後からレクリエーションとして、日韓合同運動会をしました。そのとき、韓国の選手と身ぶり手ぶりで話したり、いろいろな競技の選手たちと話すことができ、とても楽しめました。

3日目、日韓公式試合と日韓合同見学（イオンモール三川、加茂水族館）に行きました。公式試合では、みんなでそろえた日の丸入りの「JAPAN」ユニホームで試合をしたことが一番印象に残りました。もう二度とこのユニホームで試合に出ることは無いと思いますが、ぼくにとっては、大事な大事な宝物になると思います。イオン三川と加茂水族館では、言葉が通じてないと思いますが、韓国の人たちに説明することができました。韓国の人たちもショッピングセンターや加茂水族館を見学して、すごくおどろいている表情が分かりました。

4日目は、日韓合同見学（羽黒山石段登りと最上川船下り）を見学しました。その時、女子の選手たちとも写真をとったり話すことができました。

5日目は、韓国選手団のお見送りと日本選手団解団式がありました。お見送りの時には、特に仲のよかった韓国の選手と握手をしたり、ハイタッチをしたりしてお見送りしました。またいつかどこかで韓国の選手たちと、あえたらうれしいです。解団式では、山形県選抜のみんなの心もうちとけて本当に仲のよい仲間と出会えたと実感しました。この日韓交流事業に参加させていただきありがとうございました。監督さん、コーチのみなさん、スタッフのみなさん本当にありがとうございました。この事業でバスケットだけではなく、人と人の交流の大切さを改めて感じました。この経験を活かして、自分のこれからの人生に活かしていきたいと思います。

日韓交流を通して

バドミントン中学校女子選手（受入） 佐藤ひより

私は、この韓国交流でたくさんのことを学び、たくさんのことを感じるすることができました。

日韓交流のメンバーが決まり、ユニフォームを決めたり、ダンスの練習している時などは、「本当に韓国の選手が来るのかな。」とあまり実感がなかったのですが、「Japan」と書かれたユニフォームをもらったり強化練習で少しずつ実感がわいてきました。

初めて練習をしたときは、韓国の選手がとても元気で積極的でびっくりしました。それと同時に、初めて会ったはずなのに、すぐ仲良くなることができ、とても楽しかったです。

19日、20日の2日間は、練習試合をしてみて韓国の選手は、シャトルに反応するのがとても速く、フットワークなども綺麗で、なによりスマッシュが速く、ついていくことができませんでした。21日の公式試合では、勝つことはできませんでしたが、今まで練習してきたことは出せたと思います。韓国選手は試合中大きな声を出していたり、シャトルを当ててしまった時はお辞儀をしてくれたりフェアプレーを意識して試合をしていてすごいと思いました。

最終日の出し物でのダンスは、練習してきた成果を十分に発揮できました。たくさんの練習の中で「間に合うのかな。」などと思いましたが、日韓交流メンバーで団結し、踊りを覚え、最高のパフォーマンスをすることができて良かったです。

この5日間では、交流だけでなく、親や家族のいない生活や、洗濯を自分ですることで成長することができました。今回の経験を今後の生活に生かしていきたいです。



夏季スポーツ交流事業

同開催決定を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓今年度が19回目の開催となります。

派遣と受入を8月16日～22日の日程で同時に行うこととされており、今年度は本県鶴岡市に代表選手団と交流を深めました。

年度本県からは、サッカー及びバレーボール競技、96名の選手・指導者等の方が日本代表とし



成長した自分

卓球小学生女子選手（受入） 伊藤みちる

去年に続き、日韓交流事業に参加しました。

去年の試合では、サーブからツッツキが多くなかなか先に攻撃できなくて、一勝も出きませんでした。今年は、ドライブを強化したので、ラリー戦で多くの点数を取ることができ、勝ち越すことができました。韓国選手は、私が苦手な台上フリックや回り込みがとても上手で参考になりました。練習して今後の試合で使えるようにしたいと思います。

生活面では、小学女子のキャプテンとしての役割を果たせるか、韓国の人とコミュニケーションをとれるか不安でした。正直、キャプテンという役割は向いてないけど、とにかく頑張ろうと思いました。コミュニケーションでは、みんなでどう伝えるか考えて、ジェスチャーを交えて頑張りました。韓国選手に通じるととても嬉しかったです。親がいない環境で一週間過ごすことで生活力がつきました。一人で洗濯をしたり、一人で準備したり、一人でできることが増えました。みんなと仲良く考え、話し合いなどをし、行動することでテキパキ動く力もつきとても良かったです。

鶴岡でみんなと貴重な体験をし、いろいろなことを学びいろいろな力がつきました。学んだことなどをこれからの生活に生かしていきたいです。

私は、将来オリンピック出場を目指しています。日韓交流事業で会った韓国選手と、同じ舞台に立てたらいいと思います。まだ、その夢はほど遠いですが、そのためにたくさん努力します。

最後に韓国選手、コーチの皆様、体育協会の皆様、ありがとうございました。

言葉は違っても

サッカー小学生男子選手（派遣） 新井 康介

「アニョハセヨ。チェムン アライコウスケ イムニダ。チャル プッタカムニダ。」(こんにちは。私の名前は新井康介です。どうぞ、よろしくお願いします。)

韓国に行き、最初に韓国の選手に話しかけた言葉です。仲良くなりたくて覚えた挨拶です。会ってすぐこの挨拶をすると笑顔で、

「チャル プッタカムニダ。」

と返してくれたのでうれしかったです。話をしていた何を言っているのかわからない時は、ただただ笑顔でうなずくしかなくて、もっと言葉がわかればなあと思いました。

しかし、サッカーを始めると日本チームも韓国チームも思いは同じでプレーしていることに気づきました。言葉はわからなくても動きを見ていると話の意味がわかるような気がしました。サッカーに対する思いに違いはなく、なによりサッカーが大好きな仲間であること、国を超え仲間がいることに感動した時間でした。

この一週間、素晴らしい環境の中でサッカーができたこと、最高の仲間ができたことに感謝これからもがんばっていききたいと思います。そしてまたいつか韓国の仲間会いたいです。

「ト マンナプシダ。」(また、会いましょう!)

初めての経験で得たもの

バレー小学生男子選手（派遣） 阿部 昂夏

「いってらっしゃーい。」とみんなに見送られ、参加した日韓スポーツ交流事業。

日の丸がついたTシャツ、ユニフォームを着て全日本の選手になったような気持ち、キャプテンにも選ばれて、まるで夢のようでした。

しかし僕には少し不安がありました。家族と7日間も離れること、初めて過ごす海外での生活や韓国の人と仲良くなれるだろうかという不安でした。

いつも家族に何でもしてもらっているのが洗濯の練習をしていきました。実際に洗ってみると難しく、同じ部屋のチームメイトと助け合いながら、洗濯し終わった時はとても嬉しかったです。学校の家庭科で教わったこともとても役に立ちました。

2日目、初めて韓国のボールを触りました。触った時はいつも使っている日本のボールよりも重くて、感触も違い驚きました。

3日目、韓国チームと合同練習をしました。韓国選手は身長が高く、スパイクも速くて目で追うのもやっとでした。アタックは体育館中に響き渡るくらい大きな音で、サーブは中学生が打っているように感じました。でも僕は負けたくないと思いました。

公式試合ではストレートで負けてしまいとても悔しかったです、日本では味わえない経験をすることができました。国際試合を経験することができて、とても嬉しかったし、楽しかったです。

韓国選手と仲良くなれるようにチームメイトと夜に韓国語など勉強しました。一緒にレクリエーションや観光をして、身振り・手振りでコミュニケーションをとり仲良くなれたこと、日本選手団の他選手とも仲良くなれたこと、そして家族のいないところでチームメイトと生活できたことが、僕たちの自信と宝物になったと思いました。

この経験を生かし、家族や仲間を大事に思い、自分を信じ・仲間を信じこれからもあきらめずに努力していこうと思いました。7日間僕たちを引率してくれた本間監督、石井監督、菅原総監督本当にありがとうございました。



公認スポーツ 指導者ノート

人がつなげるスポーツの力

日本体育協会公認アシスタントマネジャー
畑 中 康 幸



私は一昨年、アシスタントマネジャーの資格を取得し、地域におけるスポーツの在り方、多世代、多種目、多志向型の新しい公共を担う総合型地域スポーツクラブについて学びました。資格取得のきっかけは、地域を盛り上げたいという思いと共に、少子高齢化等の地域の課題解決の一助になるよう、総合型クラブの仕組みづくりが故郷にも必要だと感じたからです。



私は現在、遊佐町でクラブマネジャーとしてクラブの運営を行いながら「スポーツの力」を身に染みて感じています。各指導者と協力しながら定期的にスポーツ教室やイベント等を開催しているのですが、参加者やご家族、他団体関係者など、多くの方と会話をする機会があります。その中で、地域の話になることがあり「これをやろう！」と実際に行動に移したことがたくさんありました。スポーツを通じた活動の中で、人がつながり、そして新たな出来事が起こったのです。この「スポーツの力」こそ、結果的に地域を活性化していくものと確信しています。

スポーツは運動を行うだけでなく、応援する、サポートする、仲間との会話を楽しむといったことも含まれます。今後は、より多くの方に「スポーツの力」を感じてもらいたいと思いますし、生涯スポーツを通して有意義な日々を送っていただけたらと願っています。

クラブ 通信

町民の健康づくりに向けて

総合型地域スポーツクラブ
大江スポーツクラブ O-STEP

会長 戸 田 健

当クラブは平成24年3月10日に設立。会員は200人弱のクラブで、フィットネス、ピラティス&ヨガなど12の教室を開催しています。特に人気なのが子どもたちのキッズダンス教室です。イベントなどでは、元気でハツラツとしたダンスが人気となっています。



町の中央公民館の建て替えに伴い、健康温泉館に会場を移した教室があります。会場を温泉に替えたことにより、男性や町外の方の入会が増えつつあります。



今冬は、雪国ならではの「スノートレッキング教室」を新規教室とし、冬期間の運動不足解消、健康づくりに貢献していきます。

今年度はスポーツ振興くじ (toto) 助成事業の5年間の4年目にあたる年です。またまだ設立間もなく、試行錯誤しながらですが、次年度に迫る助成終了後の活動を見据えて活動することが求められる時期であります。

これからも地域のニーズを捉え、町民の健康増進、生涯スポーツの振興と次代を担う子どもたちの健全な心身育成等に寄与していきたいと考えております。

市町村体育 協会だより

「スポーツで元気な上山」を目指して

上山市体育協会
会長 中 村 直 資

本協会は、平成27年2月8日に創設60周年を迎えました。その記念式典・記念講演会を1月31日に開催、記念講演は、講師に北京五輪金メダリストの朝原宣治氏を迎え、「夢を実現させるためのセルフマネジメント」の演題で、各方面から多くの方々にご列席をいただき、盛大に開催することができました。



本協会は現在、23競技種目と5つの体育関係団体を擁し、上山市スポーツの統括団体としての中心的役割を担っておりますが、本協会の大きな目標に、組織の強化があります。長年にわたり組織の強化・自立を目指してきましたが、平成22年に大規模な組織改革を行いました。この年より民間から会長を登用し、3つの専門委員会を立ち上げました。専門委員会からは、協会の運営や競技力向上に対する提案・助言をいただいております、その成果は小・中学生の競技力向上につながり、ここ数年の好成績として現われています。

併せて、市総合体育大会や指導者研修会の開催、体育施設奉仕活動の実施など、各種事業を関係各位のご協力を得ながら継続して取り組んでおり、関係者が一丸となって、「スポーツで元気な上山」を合言葉に、「市民一人1スポーツ」の実現に向けて努力しているところであります。

人物紹介

バイアスロン日本一を目指して

山形県バイアスロン連合強化副部長
佐々木 泰 弘



今回紹介する方は、阿部悟さんです。

阿部さんは、尾花沢市出身で、小学生の頃に地元のスキースポーツ少年団でクロスカントリースキーを始め、中学・高校・大学まで競技を続け、社会人となってもスキーを続けたいという思いと、学生時代に知ったバイアスロン競技への興味から、陸上自衛隊に入隊しました。

入隊後、北海道札幌市に所在する自衛隊で唯一の冬季専門部隊である冬季戦技教育隊に所属となり、バイアスロン競技を始める事になりました。

冬季戦技教育隊では約8年間在籍し、4年に1度のアジア大会・2年に1度のアジア選手権・毎年行われているワールドカップ出場等近年も輝かしい戦績を誇り、国内では宮様大会での優勝など日本を代表する選手として様々な大会でご活躍されました。

現在、阿部さんは故郷の山形に戻り、陸上自衛隊神町駐屯地に勤務をしながら地元部隊のバイアスロンチームの新キャプテンとして隊務の傍ら日々鍛錬に励むと共に、毎冬幾つかの競技大会に参加し日本一を目指しています。

バイアスロン競技は動（走り）と静（射撃）の二つの相反する要素が求められる難しさもありますが、日の丸を背負って戦った希少な経験を生かし、今後益々のご活躍を期待します。



競技団体 ニュース

野球競技人口拡大に向け、Tボール・女子学童野球普及拡大に期待

山形県野球連盟理事長 土 田 良 雄

我が国の野球の歴史は古く、明治4年来日した米国人教師から伝えられたとされている。かれこれ140年以上の歴史があることになる。

このような中、今年度は、高校野球が100年、軟式野球が70年の節目を迎える。山形県野球連盟も軟式野球の創成期と時を同じく設立され、正しい野球の普及推進、県民の健康増進、青少年の健全育成などを目的に各種大会の運営や国体等全国大会参加チームの強化、高校野球強化につながる中学生球児の強化、ジュニア育成のためのTボール競技の普及、女子野球の拡大、還暦野球の支援などジュニアから高年齢者まで野球競技に親しんでもらう活動や競技力向上を目指した取り組みを行っている。

しかし、少子化や社会経済の変化などの影響を受け、登録チーム数はこのところ減少傾向が著しく、底辺維持・拡大を含め野球人口維持拡大が喫緊の課題となっている。

このことから、当野球連盟では、引き続き各年代層に合った施策を地道に展開し、競技力向上と競技人口の一層の拡大を目指すこととしている。特に、ジュニア層の競技人口の拡大に向け、小さい子供でも親しむことができるTボール競技の拡大・推進と女子野球の普及拡大に大きな期待を持って取り組んでいる。

Tボールは、正規の野球場でなくとも空地さえあればゲームができ、三角ベースやルールを独自で決め楽しむことができる競技である。すでに、一部の市や町の小学校では、体育の授業にTボールを採用しているところもあり、競技人口拡大が期待されている。また、小学の低学年を対象とした全国大会も開催されており、昨年は、県大会を勝ち抜いた本県代表チームが全国大会で優勝を果たしている。また、女兒を対象とした野球の全国大会「ガールズトーナメント」も東京ドームで開会式を行い、大々的に開催されており、第一回の大会から当県選抜チームが参加し全国の仲間との交流を深めている。Tボールや女子野球への取り組みが野球競技人口の拡大の起爆剤となることを大いに期待しているところである。



生涯スポーツの推進 ～いつでも、どこでも、楽しく～

山形県広域スポーツセンター

<http://www.spo-net-yamagata.com/>

検索



総合型地域スポーツクラブを応援しています！

(公財) 山形県体育協会と連携・協力しながら次の主な事業を実施しています。



総合型クラブサミットin山形

県内総合型クラブ関係者が一堂(総勢113名)に会い、8月29日(土)東北公益文科大学で開催しました。



総合型クラブフォローアップセミナー

クラブ運営、会計の基礎、集客術、リスクマネジメント等専門家による研修会と相談会を実施し、安定経営につなげます。

- ・村山…12/13(日) ・最上…12/4(金)
- ・置賜…12/5(土) ・庄内…11/29(日)

クラブ訪問・市町村訪問

各クラブ・市町村を訪問し運営状況把握に努めています。また、クラブアドバイザーによる経営面や事業面に関する指導・助言を行っています。

総合型クラブマネジャー養成セミナー

全国各地から専門の講師を招き、専門的な知識を備えたクラブマネジャーを養成しています。併せて受講者のスキルアップも図っています。6月27日・28日に開催しました。



知ってますか!? あなたの街の「スポーツ推進委員」

『スポーツ基本法』 2011年制定～旧体育指導員から名称変更

- 第32条 市町村の教育委員会は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、(～中略～) **スポーツ推進委員**を委嘱するものとする。
- 2 **スポーツ推進委員**は、(～中略～) スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。
 - 3 **スポーツ推進委員**は非常勤とする。

「総合型クラブ」への役割

- ① 行政と連携し、「新しいしくみ」づくりとしての**総合型クラブ**の意義を地域住民へ周知すること。スポーツを支える人材を育成すること。
- ② 「新しいしくみ」づくりに向けて、地域におけるスポーツ関連組織や地域づくり関連組織のネットワークを構築し、自発的・主体的な住民参加を促すこと。
- ③ **総合型クラブ**の自律・自立に必要な政策提案やスポーツ推進に係る助言。

総合型クラブの山形全県展開、さらに生涯スポーツの推進を図る上で、**スポーツ推進委員**への期待は大きいものがあります。また、県内全市町村スポーツ推進委員で組織する**山形県スポーツ推進委員協議会**(委員数：800名 H27年6月現在)では、研修会を開催し委員の資質の維持・向上に努めています。

平成27年度賛助会員紹介

(加入順：敬称略)

◆ 法人

ネットヨタ山形(株)
 (一社)山形県銀行協会
 ミズノ(株)仙台営業所
 (株)天童木工
 ゆうき整形外科
 (株)小澤商店
 (株)山形環境荒正
 エイムカイワ(株)
 (株)東照電気
 (有)パソコンサポート山形
 山形資源(株)
 東北電化工業(株)
 (協)山形給食センター
 渋谷建設(株)
 スズキハイテック(株)
 山形県信用金庫協会
 (株)タキザワ
 (株)誠文堂印刷
 (株)天童給食センター
 (社福)さくら福祉会
 (有)くまがい
 (株)ヤマコー
 (学法)東北芸術工科大学
 ほほえみの宿 滝の湯ホテル
 ホテルメトロポリタン山形
 (株)アイシシステムズ・ビズ
 (株)北原産業
 アイ・エム・マムロ(株)
 山形県火災共済協同組合
 (株)庄内ゴルフ倶楽部
 (株)市村工務店
 山新建装(株)
 (公財)山形県企業振興公社

遠藤商事(株)
 村尾旅館
 (株)メコム
 東京海上日動火災保険(株)
 (株)協栄給食
 大塚製薬(株)
 (株)大風印刷
 トップツアー(株)山形支店
 (株)かわでん
 ヨネックス(株)仙台営業所
 山形スポーツ用品小売商協組
 山形オザキ(株)
 山形酸素(株)
 山形パナソニック(株)
 山形県弓道連盟
 山形県信用組合協会
 山形ゼロックス(株)
 山新観光(株)
 山形県住宅供給公社
 (株)本間利雄設計事務所
 (株)平田牧場
 (学法)東北公益文化大学
 日本の宿 古窯
 (株)山形新聞社
 山形放送(株)
 山形国際ホテル
 上杉城史苑
 第一貨物(株)
 ホテルキャッスル
 天童カントリークラブ
 青山建設(株)
 湯の浜カントリークラブ

(一社)山形県建設業協会
 (株)山形グランドホテル
 アシックス販売(株)東北支社
 (株)JTB東北山形支店
 東北パイオニア(株)
 (株)県庁食堂
 たんの文具
 (株)葉山館
 (株)曙印刷
 ヤマコーリゾート(株)
 (株)シベール
 タカミヤホテルグループ
 (株)でん六
 (株)キヨスミ産研
 (株)カスカワスポーツ
 (株)モンテディオ山形
 みらい開発(株)
 日新製薬(株)
 山形県信用保証協会
 (公財)やまがた健康推進機構
 (株)日本旅行東北
 (社福)恩賜財団山形県済生会
 (株)山形ビルサービス
 (有)アートエッグ
 (株)ジョインセレモニー
 大泉建設(株)
 (社福)長井福祉会
 (株)ヨシケイ山形
 高畠ワイン(株)
 名鉄観光サービス(株)山形営業所
 (株)山形ゴルフ倶楽部
 蔵王カントリークラブ

◆ 個人

登坂光雄	中村弘	前田直己	会田忠秋
山口正己	山本益生	海老名清二	新野晃敏
塩野孝男	渡会昇	佐藤啓	鎌田博子

(2015.11.1 現在)

公社分譲地好評分譲中!!

【分譲中】

山形市

そよ風タウン嶋

30区画(宅地分譲)

みはらしの丘小学校前

2区画(宅地分譲)

鶴岡市

公社タウン高専前

1区画(宅地分譲)

※募集区画状況は平成27年10月20日時点のものです。募集区画状況・分譲条件等くわしくは下記にお問い合わせください。

【平成28年度以降の分譲予定地】

山形市

公社タウン蔵王みはらしの丘(仮称)

天童市

“なでしこの里”天童山口(第2期)



山形県地域づくり支援機構

山形県住宅供給公社

そよ風タウン嶋

検索

☎ お問い合わせ・資料請求

そよ風タウン 嶋 案内センター
☎ 0120-303-978

〒990-0885 山形市嶋北1-14-10

【休日】日曜日、月曜日、年末年始 【営業時間】9時～17時

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体活動中の事故
往復中の事故



5名以上の団体で
ご加入ください。

保険期間

平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成27年3月から)



あん
スポ安くん

いざというときしっかりサポート



公益財団法人 スポーツ安全協会 山形県支部

＜(公財)山形県体育協会内＞

〒990-2412 山形市松山 2-11-30 TEL 023-642-8321

電話受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く)